

<b>基本目標1</b>	<b>誰一人取り残さない！希望あふれるまち「とくしま」の創造</b>
<b>政策1</b>	<b>子どもたちが健やかに育ち、生きる力を育むまちづくり</b>
<b>★施策1</b>	<b>子ども・子育て支援の充実</b>
A	全国的に人口減少・少子化の進行は進んでいるが、市立教育・保育施設再編計画の推進、学童保育クラブ数・地域子育て支援拠点の増加など、市の努力が見られた。一部やや目標に届かなかった事業もみられるが、今後の見直しも含めてA評価とした。
B	成果指標のうちの出生数と病児保育事業の確保量が目標値に届いていないこと、市民満足度が低下していること、特に出生数と市民満足度の低下は深刻と思います。ただ、ここ数年間はコロナ禍という特殊な状況だったため今後に期待してB評価としました。
<b>★施策2</b>	<b>学校教育の充実</b>
A	オンラインにもかかわらず参加者の評価が高い研修が行われるなど順調な進捗状況である。コロナ禍が収束していない状況の中でも事業がほぼ目標通り行えたことは評価できる。
B	成果指標については、やや良化した指標とやや悪化した指標があり足踏み状態になっているが市民満足度が上がっていることからB評価としました。
<b>施策3</b>	<b>教育環境の向上</b>
A	全ての重点事業が目標に到達しており、計画的な事業実施が行われている。教育環境の充実が図られ進捗状況は順調であるためA評価とした。
A	成果指標が順調に推移していることからA評価としました。
<b>施策4</b>	<b>青少年の健全育成</b>
B	新型コロナウイルス感染拡大の状況から事業の縮小など一部の事業では、目標値まで到達できなかった。しかし市の工夫や努力が見られたため今後の事業進展に期待が持てるため進捗状況は概ね順調と考えられるためB評価とした。
B	成果指標については、不登校児童生徒の割合の増加が目立つがその他の指標については順調でありB評価としました。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策2	誰もが生涯にわたり元気で健康に暮らせるまちづくり
★施策5	健康づくりの推進
A	成果指標が概ね順調に推移していることからA評価としました。成果指標の自己点検結果のがん検診受診者数でがんの種類によって新型コロナウイルス感染拡大による影響の仕方に矛盾があるように感じました。
B	対面による相談・健診事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたため事業の目標値に届かなかった項目が多い。その中でも一部の事業で目標値を上回るなど市の工夫・努力が見られた。今後コロナの感染が落ち着いたら対象の見直しなども含めて受診者増加に向けての検討が必要。
★施策6	社会保障の充実
A	成果指標が概ね順調に推移していることからA評価としました。生活困窮者自立支援プラン作成件数については、単純に件数にしてしまうと今回のコロナ禍において目標値を大きく上回ってしまったように生活困窮者が増加すると件数は増えてしまうので見直しが必要だと思えます。
B	支援対象者へのきめ細やかな事業展開としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたため目標値に届かなかった項目が多くなった。また目標値に近い数字になった項目でも課題が残されるなど方法や対象について進捗状況は要改善と考えられるためB評価とした。
★施策7	地域医療の充実
A	成果指標が概ね順調に推移していることからA評価としました。成果指標の患者紹介率の測定方法が分かり辛いので説明してください。
C	事業目標が未達成の事業が過半数であり、事業目標を達成できた項目や、ほぼ達成できた項目においても、事業改善のための課題が残されている。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けており、今後は改善されるだろうと推察できる事業もあるが、その見通しがまだ立てにくいことから、あえてC評価とした。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

<b>基本目標2</b>	<b>多様性を認め合える！個性あふれるまち「とくしま」の創造</b>
<b>政策3</b>	<b>誰もが自分らしく安心して暮らせる共生社会を実現するまちづくり</b>
<b>施策8</b>	<b>地域福祉の充実</b>
B	重点事業⑤指標「監査の結果 不適切事例」0件とした方がよい。
B	目標値にはもう一歩のところまで成果指標は伸びてきているものの、前回との比較では横ばい、もしくはわずかに後退している指標も見られる。コロナ禍だからこそ、地域福祉の分野はさらなる充実が求められるもので、特に福祉活動を目的としたNPO数の伸び悩みや、民生委員・児童委員の充足率が後退している点が気になる。
<b>施策9</b>	<b>高齢者福祉の充実</b>
B	・シルバー人材センター運営費補助の成果指標として次の数値にする。 【仕事をした人／登録者数】 ・安心して生活できる割合を市単独でコントロールするのは困難か。
B	認知症サポーター数は着実に伸びてはいるものの、目標達成には厳しいペースである。また、コロナ禍で職を失った高齢者も少なくないことから、収入がある高齢者が減少している。そのような中で、地域包括支援センターの相談事例は増加しており、包括支援センターが地域の中で重要な役割を担っていることがわかる。地域の他の主体と連携し、受けた相談についての迅速かつ適正な対応をお願いしたい。
<b>施策10</b>	<b>障害者福祉の充実</b>
B	なし
B	障害福祉サービス利用実人数は、コロナ禍の中でも順調に伸びており、R5の目標地を既に超えている。その反面、雇用の機会が減少したことにより、就労移行支援事業利用者数は前回は下回っている。福祉サービスの提供と同時に、就労の場の確保と促進は、地域全体で取り組むべき課題として住民全てが目を向けなければならないと感じている。
<b>★施策11</b>	<b>人権尊重・多文化共生社会の実現</b>
A	アミコのインクルーシブカフェへの市の関与があれば高く評価。
B	コロナ禍においても人権啓発・研修活動が様々な工夫の上で継続され、参加者数は前回よりも大きく伸びている。ただ、目標値までの乖離は大きい。また、市民満足度では「国際化が進んでいると思う市民の割合」が前回よりも減少しており、教育現場における国際化の取組みが意識調査には直結しないことが伺える。さらに、パートナーシップ宣誓制度については、ぜひ他の自治体との連携において徳島市が積極的なリーダーシップを発揮して頂きたい。
<b>★施策12</b>	<b>男女共同参画社会の実現</b>
A	個体数→とりくみ件数→効果があったと評価できるとりくみ件数 (男女共同参画連携事業)
B	男女共同参画ネットワーク会議が設置され、ダイバーシティを考える若い世代との交流イベントや、多様な業界や団体に働きかけたフォーラムを開催するなど着実に取組みは進んでいる。固定的性別役割分担意識に反対する市民の割合も高く、市民意識の醸成も図られている。しかしながら、審議会等への女性委員の登用や、女性が働きやすいと感じる市民の割合は目標には届いていない。今後の更なる進展を期待したい。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策4	市民一人ひとりがいきいきと輝くまちづくり
施策13	文化芸術活動の振興
B	アウトリーチ事業について、子どもによかったと思ってもらえた割合に指標設定。
B	ホールボランティア・市民グループの登録者数は前回よりも減少しているが、このようなボランティアの登録制度があることがあまり認知されていないのではないか。また、コロナ禍の影響で文化芸術に関するイベント開催が難しかったこともあり、アフターコロナでの新たな文化芸術活動の形を模索して頂きたい。
施策14	スポーツ・レクリエーション活動の振興
B	なし
B	コロナ禍で特にスポーツやレクリエーションによる人との接触の機会が制限されたことから、目標達成にはかなり乖離がある。市民の健康づくりの促進は、一人一人の生きがいや活動量の増加、地域の活性化につながる効果が大きいことから、アフターコロナに向けた健康づくりスタイルの構築を目指して頂きたい。
施策15	生涯学習の推進
B	図書館事業について、利用登録者数でなく、貸出件数にすべき。
B	リカレントやリスキリングによる生涯にわたる「学び」が求められる中、求められる生涯学習も変化している。図書館の利用者数は目標を上回り、市民が「講座が充実していると感じる割合」も増えている。地域における生涯学習の拠点づくりや、生涯学習コーディネーターの配置など今後に向けた課題は多い。
施策16	地域自治・協働の推進
A	地域コミュニティ活動・運営の支援について、コミセンの利用率にすべき。
A	NPO等との協働事業数は前回よりも大きく増え、地域まちづくり計画の策定も順調に進んでいる。NPOについては、補助金や助成金に頼らない経済的な自立を目指すことが継続発展の課題であり、市としても「自立したNPO」を育成するための支援を行って頂きたい。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

<b>基本目標3</b>	<b>強靱で未来へと続く！安心あふれるまち「とくしま」の創造</b>
<b>政策5</b>	<b>市民の生命や安全な暮らしをまもるまちづくり</b>
<b>施策17</b>	<b>防災・減災対策の強化</b>
B	成果指標について、地区別津波避難計画策定率、市民総合防災訓練は、R5目標値の達成を視野における水準といえるが、それ以外の指標の目標達成は不透明である。B評価とした。
B	数値的に順調に進んでいると思われる。避難所運営協議会設立数が停滞しているため、地域と協力して推進して欲しい。
<b>★施策18</b>	<b>消防・救急体制の充実</b>
A	高い水準で目標が達成できていると思われる。 重点事業3「次世代の救急救命育成プロジェクト」(のような事業)の評価は、回答率だけでなく、母体数(講習に参加した生徒数、及び徳島市内の全生徒数)の情報もないと適切な事業評価は難しい。この事業は成果指標「小中学校及び高等学校の救命講習実施率」に関連する付けられているようだが、事業の方は小学校が含まれず、学校数ではなく生徒数であるので注意が必要。
C	R5目標値達成に関して、当初値に比べて進捗がみられるが、前対比で数値が悪くなっていたり、年度によるブレがある。すべての成果指標において達成が不透明な水準にあると評価せざるを得ない。新型コロナの影響も推察されるが、目標達成に向けた進捗状況としては芳しくないように思われる。C評価とした。
<b>★施策19</b>	<b>生活安全の推進</b>
A	成果指標は、いずれも目標達成ないし達成可能な水準にある。市民満足度の目標達成はやや不透明ではあるが、総合的に判断してA評価とした。
B	成果指標はほぼ達成できている。重点事業4「交通安全教室及び交通安全キャンペーンの実施」については高齢者が参加したくなるような魅力的なイベントを検討する必要がある。
<b>★施策20</b>	<b>生活道路の整備</b>
A	成果指標のうち、3つがR5目標値を達成しており、その他も達成可能な水準にある。長寿命化対策の橋りょう数(橋)の目標達成は厳しいとみられるが、計画見直し時に目標値を再設定することであり、総合的に判断してA評価とした。
C	重点事業6「自転車通行空間の施帯」について、整備距離が1.3kmも伸びたことは評価できるのではないかと。 重点事業5「無電柱化事業」について何ら具体的な記述がなく、概ね順調という根拠が示されていないので評価できない(C評価の理由)。
<b>施策21</b>	<b>上水道の整備</b>
B	成果指標のうち、上下水道普及率はR5目標値は十分達成可能な水準にある。ただし、その他の指標の目標達成は不透明であり、B評価とした。
B	ほぼ順調だと思われる。埋設物の管理・品質向上は大きな苦勞を伴うが、今後も水道管の耐震管率の向上に努めて欲しい。
<b>★施策22</b>	<b>雨水対策の推進</b>
A	成果指標のうち、水路等の一斉清掃以外の指標については、R5目標達成ないし達成可能な水準にある。水路等の一斉清掃については、開催が行われれば目標値に近い参加者数が計上される可能性はある。A評価とした。
B	ほぼ順調だと思われる。今後大雨の頻度・規模が大きくなると想定される。下水道が雨水排除に役立っていることを知らない市民も少なくはないと思われるので、広報活動を含めて事業の推進に努めて欲しい。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策6	豊かな自然環境と快適な生活環境が充実した住みやすいまちづくり
★施策23	環境の保全と向上
A	成果指標のうち、環境基準の達成状況、市域からの温室効果ガス総排出量、及び市民満足度は、R5目標値を達成している。それ以外の指標については、目標達成が可能な水準にはある。総合的に判断してA評価とした。
B	重点事業5「環境保全啓発事業」のように市民の反応の良い事業もあるので、これを参考に他の事業も広報活動を行うのも良いと思う。環境(や防災)は「習慣」として身につけることが重要だと考えるので、小中学生を対象とした教室・学習会が効果的だと思う。
施策24	循環型社会・廃棄物処理の推進
B	成果指標は、いずれも前年度からの進展がみられるものの、R5の目標値の達成についてはやや厳しい状況にある。総合的にCよりのB評価とした。 なお、施策の目指すべき姿にある「新たな一般廃棄物中間処理施設の整備が進み、廃棄物を適正に処理する環境が整っています」に対応する成果指標がなく、次回計画見直し時に指標設定の必要性があるのではないかと。
B	ほぼ順調だと思われる。重点事業4「ふれあい収集事業」のように想定を超える場合、適切な申請が却下されることがないように十分なサポートをして欲しい。また中間処理施設整備事業を取り巻く環境は厳しいが、地道に取り組んで欲しい。 「分別頑張ったんやけど、燃やすしかないごみ」が注目を集めていて、その名称に賛否はあるが、ごみ分別に対する関心、理解が高まるきっかけにはなったと思う。情報発信の面からもごみの減量化に努めて欲しい。
★施策25	污水対策の推進
B	成果指標のうち、污水处理人口普及率はR5の目標達成は可能な水準にある。しかし、下水道ストックマネジメント計画に基づく施設管理の進捗率については、目標達成がほぼ不可能とのことである。また、下水道整備進捗率も現状では目標値には大きく届いていない。CよりのB評価とした。自己点検されているように、適切な目標設定が必要と思われる。
C	国が掲げる污水处理人口普及率95%に引きずられずに、徳島市の地勢、人口分布、産業、人口動態、住宅の更新、施設の維持、市の予算などから総合的に判断して、長期的視野に立った現実的で無理のない污水处理人口普及率の設定、事業計画が必要ではないか。 現実的な目標値の設定がなされていないと思われる(C評価の理由)。
施策26	多機能な都市空間の創出
B	成果指標のうち、緑化推進事業参加者はR5の目標値を達成している。老朽化施設等の計画的な維持管理(公園)数は目標達成可能な水準である。しかし、市民満足度と動物園入園者数についてR5目標値の達成はやや厳しいように思われる。 なお、この施策の目指す姿に対して、動物園への入園者数が成果指標となっていることには違和感がある。 総合的に判断して、(Cよりの)B評価とした。
B	事業はそれなりに進捗しているが、市民満足度が目標値より10ポイントも低いのは、施策目標と事業にズレがあるのではないかと。総合計画の副題に「水都とくしま」と謳われており、市民満足度を測る成果指標にも緑と共に「水辺」が入っている。しかしながら自己点検や重点事業をみると「緑」と比べて「水辺」は軽視されているように感じられる。次回以降の評価では「水辺」に関する成果指標、重点事業も組み込む必要があるのではないかと。 動物園の入園者数はコロナに隠れているが、魅力ある動物の死亡が大きいと思われる(2020年マサイキリン、アムールトラ、21年セイロンゾウ、ホッキョクグマ、バードゲージの展示中止ほか)。四国内の他の動物園と比べて予算が少ないことやワシントン条約の制限等もあり、新たな動物の導入は難しいと思われるが魅力的な動物園づくりに取り組んで欲しい。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

★施策27 住環境の整備

A

ほぼ全事業について目標値を達成している。重点事業4「危険ブロック塀等耐震化事業」については、例えば施策17「防災・減災対策の強化」の重点事業5「避難支援マップの作成支援」と連携するなどの工夫で市民への周知は可能だと思う。空家問題は防災、防犯、景観など様々な方面に影響するので今後とも事業を継続して欲しい。  
成果指標の目標値の妥当性が明確でないように思える。空家については「施策の推進状況と課題」で説明されているが、市営住宅の需要状況が分からない。

B

成果指標のうち、市民満足度はR5目標値を達成しており、既存市営住宅の空き家募集戸数もR5目標値を達成可能な水準にある。ただし、危険な空き家の除却数は、その達成はやや厳しい状況に思われる。総合的に判断してB評価とした。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

<b>基本目標4</b>	<b>地域経済を牽引する！ 活力あふれるまち「とくしま」の創造</b>
<b>政策7</b>	<b>市民の豊かな暮らしと社会を支える経済基盤を確立するまちづくり</b>
<b>施策28</b>	<b>農林水産業の振興</b>
B	<p>成果指標の進捗状況については、農産物等販売金額以外は、目標に向けて順調に進んでいる。今後は農産物等販売金額はJA出荷分のみではなく、ネット販売や産直ルートも視野に入れて取り組んではどうか。</p> <p>また、スマート農業に関する勉強会など、次世代農家の育成に力を注いでほしい。</p>
B	<p>農業従事者の高齢化や農家戸数の減少が続く中において、次世代を担う青年層の新規就農者の確保・定着化が求められる。</p> <p>こうした中、成果指標は全体として目標値の達成に向けて順調な推移がみられ、評価できる。一方、農産物等販売額の達成状況が芳しくない。販売額の増加につながる政策の充実は、新規就農者の生活に直結する。農産物等販売額の増加に向けた取り組みを期待したい。</p>
<b>★施策29</b>	<b>地域産業の振興</b>
B	<p>成果指標の進捗状況は概ね順調に推移している。重点事業2「IT導入支援事業」や3「中小企業販路拡大支援事業」、5「企業誘致・雇用拡大等推進事業」などで一定の効果がみられる。</p>
C	<p>目指すべき姿は、AIや5Gなどの技術革新により、新たなビジネスを創出して市の経済を牽引しているが、進捗状況を見ると、IT関連の支援やEC参入支援は順調とは言えないので、重点的に推進してほしい。</p> <p>また、地方移転の企業が増える傾向にあるので、徳島市への企業誘致について効果的な推進を図っていただきたい。</p>
<b>★施策30</b>	<b>商業・サービス業の振興</b>
B	<p>コロナ禍の影響により、事業所数・小売業販売額・卸売市場の取扱数量はいずれも当初値を下回っている。</p> <p>重点事業2「中心市街地出店支援事業」では事業周知に課題があるものの、新規出店事業者の助成を通じて中心市街地のにぎわいづくりに一定の効果があったものと思われる。引き続き重点事業の推進による振興を期待したい。</p> <p>「中央卸売市場における取扱数量」は、「今後においても成果指標と目標値が乖離すると考えられる」としていることから、指標の見直しを検討してはどうか。</p>
C	<p>商店街をはじめとする商業地でのにぎわいづくりに寄与することを目指しているが、成果指標についての進捗状況が芳しくなく、後退している。特に商店街の活性化については、課題解決に向けて新たなビジョンを示して取り組む必要があるのではないか。</p>
<b>施策31</b>	<b>働く環境づくりの推進</b>
B	<p>企業の誘致件数も雇用奨励金適用人数も予定通りには増えていない。</p> <p>目標はテレワークなど多様な働き方の採用により、誰もが働きやすい職場環境を創出することにあるので、テレワーク等多様な働き方を推進する環境づくりの施策に力を入れてはどうか。</p>
B	<p>コロナ禍の影響もあり、企業誘致件数や雇用奨励金適用人数は指標の達成が困難であると感じる。一方、ダイバーシティ経営企業認定数は、概ね順調な推移がみられることから「B」評価とした。</p>

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である



政策8	まちのにぎわいと人の流れを創出するまちづくり
★施策32	人等が集う求心力の高いまちづくりの推進
A	成果指標に順調な推移がみられる。ふるさと納税のポータルサイトを増加させるなど、成果指標達成に向けた取り組みもみられる。一部に達成困難と感ずる指標もあるが、全体として順調に進捗している。重点事業も、ほぼ全ての事業目標を達成している。
B	移住支援策の充実により県外からの転入者は増えているが、アフターコロナもこの傾向が続くように、さらにプロモーションを強化してほしい。多様な働き方の推進と併せて、徳島の魅力度をアップする施策が必要だ。ふるさと納税は目標値に達したが、全国的に見ると寄付額は低いので、企画内容とアピールに工夫が必要だ。
★施策33	コンパクトで機能的なまちづくりの推進
B	コロナ禍にあって、達成が困難な項目が多い。重点事業9「地域公共交通の活性化」で、バス路線の効率性と利便性が両立するルートの見直しや利用促進につながる事業などに取り組んでおり評価できる。重点事業の推進・継続による進捗状況の改善を期待したい。
C	中心市街地は活気が戻ってくるどころか、歩行者数は減る一方である。目指すべき中心市街地をしっかりと描いた上で、重点事業のリノベーションによるまちづくり等を推進し、店舗も住む人も増やし、その結果街に活気を取り戻してほしい。市バスの乗車人数は増えていないが、今後高齢者がさらに増えることから需要は増すはずである。新たな便利さを追求した交通を再構築してほしい。
施策34	観光・交流の促進
B	観光客はコロナ前まで戻っていないものの、回復の兆しがあり、特に今後は関西万博を控え、徳島市の魅力発信による観光客増対策が重要となっている。特に、阿波おどりと阿波おどり会館の魅力向上は重要であり、多くの予算をかけてでも今人気を取り戻し観光客急増を図ってほしい。
B	すべての成果指標で達成状況が芳しくないものの、阿波おどりの開催、観光需要が徐々に回復する中で宿泊者数が増加に転じるなど持ち直しの動きがみられる。同業界の活性化にむけて、観光客やコンベンション誘致等に係る重点事業の継続を期待したい。
施策35	文化財の保存と活用
B	「徳島城時代行列」や「まち歩き」の開催による賑わいの創出ができた。歴史や文化財の価値は市民の誇りとして存在するべきであると共に、ただ保存だけではなく文化財を活かしたまちづくり推進のため積極的に活用してほしい。
B	「文化財を活かしたまちづくり」は推進不足にあるが、「文化財の指定・登録等の件数」は、すでに目標値を達成している。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である